

## 松江の新日本一：志多備（しだび）神社のスタジイ

2014. 10. 14 八期生 木下 勲

松江の錦織圭君の日本一は当然のことだが、松江・志多備神社のスタジイの巨木が日本一であることは、知らなかった。それもそのはずつい先日まで、志多備神社があったのは八東郡八雲村だったからだ。2005年の合併で、八雲村が松江市に編入されたので、晴れて？松江市の日本一になったということだ。関東地区に住む私には、新しい発見だった。調べると、このスタジイは、WEBにも沢山紹介されている。

そこで法事で帰松した折の10月10日、松江市八雲町の志多備神社を尋ねた。神社の前には車7、8台は入るトイレ付きの立派な駐車場があった。そのうえトイレの蛇口が自動水栓であったのは、驚きだった。訪問者が絶えないのか、訪問者を期待しての措置なのかは不明。こんな辺鄙な片田舎で自動水栓に出会うとは晴天の霹靂であった。

スタジイは2本あった。1本目は、参道脇に狛犬に守られるように聳えていた。2本目は神社の右に、大きく枝を張っていた。その前にある案内板によると周囲11.4m、高さ20m、樹齢数百年。高さ3mあたりで9本の枝（1本は枯れている）に分れ四方に枝葉を広げている。枝張りは東西20m、南北33mだそうで、あたりが暗くなるほどだった。2本とも、この桑並（くわなみ）地区の神木だそうで、なにか古代出雲の神秘的なものを感じて帰路に着いた。



参道で狛犬に守られたスタジイ



9本の枝を張ったスタジイ



志多備神社



駐車場の看板

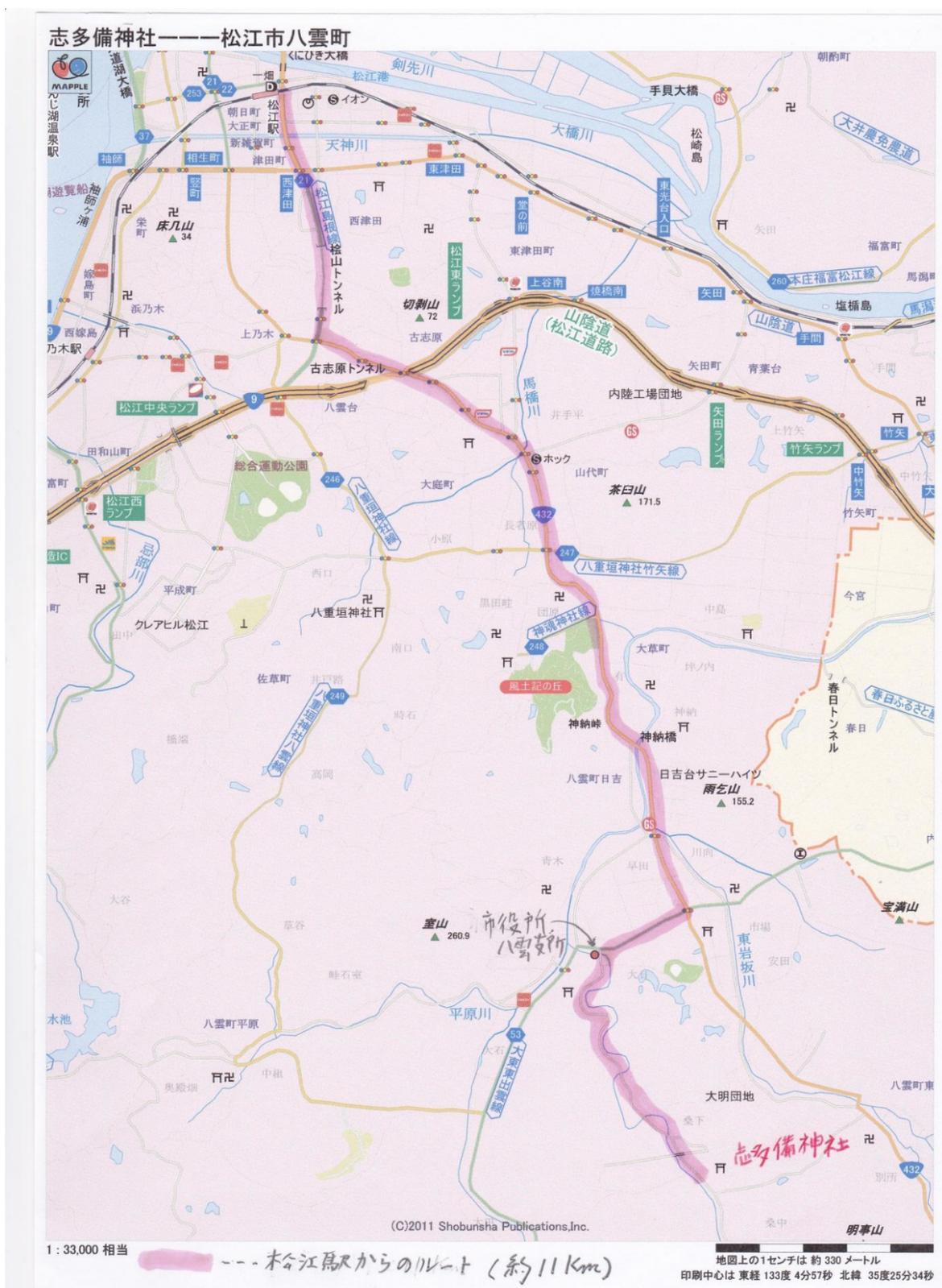
### <案内板の説明文>

このスタジイは、桑並地区を守る総荒神の宿る神木です。胸高周囲十一・四メートル、樹高約二十メートルで、樹幹は地上三メートルあたりで九本に分かれ（一本は枯れている）四方に枝葉を広げています。枝張りは、東西約二十メートル、南北約三十三メートルで、樹齢は確かではなく推定数百年とい



われている日本一のシイの巨木です。志多備神社参道傍にあるスタジイは、胸高周囲六メートル、樹高十八メートル、枝張りは東西約十七メートル、南北約十九メートルです。神社の周囲一帯は、スタジイの森になっており、学術上でも貴重な存在として残っています。

<松江駅からのルート>



了